

こども

こ ぞだ
子育て

わが もの
若者

ふくしま
福島市

こども計画

ふくしま し めざ
えがおあふれる福島市を目指して

ぼん
【こども版】

2025(令和7)年度～2029(令和11)年度

ひとり
みなさんは、一人ひとりがとても大切な存在です。

ぜん いん き ぼう も
みなさん全員が希望を持って、

しあわ せい かつ
幸せに生活することができるよう、

ち い き おう えん つく
地域みんなで応援するまちを作るために、

ふくしま し けい かく つく
この福島市こども計画を作りました。



なに
何をめざしているの？

こども・若者のえがおあふれる ふくしま

～こどもファーストのまちづくり～

こども・若者のみなさんは、地域の宝です。そして、無限の可能性を秘めています。
みなさんには、しあわせにすこやかに育つために、教育を受けたり、遊んだり、自分の
意見や考えを伝えたりする権利があります。

すべてのこども・若者のみなさんの権利が守られ、将来にわたってしあわせな状態
で生活を送ることができる「こどもファーストのまち」を目指し、みなさんのえがおあ
ふれる福島市をつくりまします。

みなさんの声や想いを聴いて、大切にしていきます

「福島市」について、小学生や中学生の想いを聴かせてもらいました！

Q. どんなところが好き？

いち ねんじゅう
一年中
おいしいくだものが
食べられる！

ち いき
地域のひとたちが
やさしい！

おく ない あそ ば しょ
屋内で遊べる場所が
増えてほしい…

Q. こうなったら
いいな！

じ ゆう つか
自由に使える
学習スペースが
あると嬉しい！

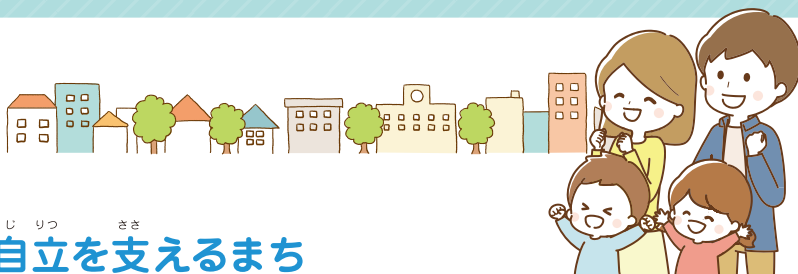
『福島っ子ベース～若者ワークショップ』

高校生や大学生と一緒に、『結婚』や『子育て』
など、将来のことについて語り合いました！

- ・家事や育児は夫婦で協力し合うのがあたりまえ！
- ・子育てに優しい職場の環境、雰囲気が大切。
- ・家族や学校以外に頼れる人や悩みを話せる人が大切。



どんな目標があるの？



1 こどもの育ち・若者の自立を支えるまち

- 福島市の取り組みについて、『こうなるといいな』『こうしたいな』と意見を言える機会をつくります。また、その意見を色々な取り組みに活かします。

意見箱、出前講座、市長・教育長とのオンライン会議 など

- 自分らしく、安心して過ごせる居場所を充実させていきます。
学校を使って、みんなで楽しく遊べるようにします。
また、遊びや新しい体験ができる機会を増やします。



子ども食堂、こむこむ館のリニューアル、こどもベース など

- みなさんの、『やりたい』『やってみたい』が実現できるように応援します。

中学校ドリームアップ事業、若年者就職支援 など



2 安心して子育てできるまち

- 安心して子育てができるよう、切れ目なくサポートし、大人になっても、『福島市で子育てしたい』『福島市で暮らし続けたい』と思ってもらえる環境を作ります。

幼稚園や保育所、放課後児童クラブ、予防接種、子育て住宅支援 など

3 困難を抱えるこども・若者を支えるまち

- みなさんやおうちの方が困ったときや悩んでしまったときに、気軽に相談できる場所を充実させます。

こども家庭センターえがお、スクールカウンセラー など



4 地域全体で子育てを支えるまち

- みんなで協力して「社会全体でこどもを大切にする」という気持ちを高めます。

こども110番ひなんの家、子ども食堂 など

さいごに

一緒に福島市のこれからをつくっていきましょう！

福島市では、こどもや若者のみなさんが、年齢や今の環境にかかわらず、『福島市で育ってよかった』と思ってもらえるように、みなさんの声を大切にしながら、みなさんにとって最も良いことは何かを考え、これからの取り組みを進めて行きます。

みなさんの、夢と希望を
みんなで応援するまち、
えがおあふれる福島市を
つくっていきましょう。



令和6年度「うふうふ・ふくしま写真プロジェクト」受賞作品

子どものえがお条例を知ろう！



こどものみなさんが将来にわたって幸せな状態で生活を送るために、福島市がつくる大切なルール・仕組みです。

福島市 えがお条例



もしも、

悩みや困りごとがあったら、
一人で悩まず、いつでも連絡してね。

0120-0-78310

(24時間子供SOSダイヤル)



お問合せ先

福島市 こども未来部 こども政策課

☎024-572-3416

